

安倍暴走政治、ストップ! 「戦争法」を廃止できる政治の実現目指そう!

憲法を教育にいかす政治の実現のために:

7月に、18歳選挙権が実現したもとの、初めての国政選挙となる参議院選挙が行われます。子どもと教育、そして日本の進路にとって歴史的な意味をもつ大切な選挙になります。この選挙で、職場の願いを出発点に、周りの教職員との対話をすすめ、憲法を教育にいかす私たちの切実な願いを実現させましょう。

若者や教え子を戦場に送らないとirikumiを!

3月29日午前0時多くの反対の声を押し切り「戦争法」が施行されました。施行を受けて、「戦争する国」へと向かう危険な動きが現実のものになるうとしています。

7月の参議院選挙後には、自衛隊による「駆け付け警護」の実施も狙われています。海外派兵恒久法などの法律により「戦闘地域」での活動や、米軍などへの弾薬の提供、戦闘機への給油など戦闘と深くかかわった支援が可能となりました。また、イラクやシリアへの空爆支援も可能になります。このように憲法違反の「戦争法」発動により、自衛隊が他

国の領土への空爆支援により、「殺し殺される」事態を引き起こすことが想定されます。また、国内においてもテロの危険にもさらされることも考えられます。若者や教え子を死の危険に巻き込む「戦争法」の発動を許さない声を今後大きくしなければいけません。

立憲主義を取り戻すため、「戦争法」の廃止を求める統一署名にとirikumiしましょう。

「戦争法案」の強行採決後も総がかり行動実行委員会の国会前行動や全国各地での19行動では、「戦争法は廃止」「野党は共闘」「安倍政権は退陣」などのコールが続いています。



各地で、「戦争法」を廃止し、立憲主義・平和主義を取り戻すために参議院選挙一人区での統一候補要請の動きが強まっています。

憲法改正を視野に夏には衆参同時選挙まで取り沙汰される中、「戦争法」廃止の運動とともに、改憲への動きを許さず、「憲法を守り、いかそう」の声を広げていくことが重要です。

今取り組まれている2000万署名は、その大きな力になります。4月中の運動となりますが、まだ職場で取組む時間は残されています。新学期の立ち上がりで忙しい毎日ですが、残りの一カ月周囲の教職員に声をかけましょう。

ひびき灘

今年のメーデーは久しぶりに休日開催です。労働者の祭典「北九州統一メーデー」に家族、知人の皆さんと誘い合って、小倉北区の勝山公園図書館横広場に集まりましょう。今年の全労連スローガンは、「戦争法廃止。立憲主義、民主主義を取り戻せ! 明文改憲反対」壊すな「8時間労働」労働法制改悪反対、働くルール確立「安倍『教育再生』ストップ。辺野古基地建设反対」などの言葉が並びます。

さて、メーデーの由来はご存知でしょうか。今から130年前、当時は一日12時間から14時間労働が当たり前の時代、合衆国カナダ職能労働組合が、8時間労働制を要求するゼネラルストライキを五月一日に行ったのが始まりです。その時の目標は「第1の8時間は労働のために、第2の8時間は休息のために、そして最後の8時間は好きなことのために」が掲げられていました。

現在では「労基法」一日8時間労働、一週間に40時間以上を超えて働かせてはいけないとなつています。が、皆さんの職場はいかがでしょうか。メーデースローガンで、「8時間労働を壊すな」と言わなければいけなくらい職場は超過勤務が蔓延し、多忙を極めていきます。職場で仲間を増やし、安心して働ける職場を一緒に作っていきましょ。

さよなら原発！3・13北九州集會に2500人参加

チェルノブイリ原発事故から30年、フクシマから5年となった3月13日、小倉北区勝山公園図書館広場で「さよなら原発！3・13北九州集會」が開催されました。青年、女性、労働組合など、幅広い階層から2500人が集まりました。歌声やバンド演奏の後、棚次奎介代表世話人は主催者あいさつで、「一致団結して原発をなくす行動をさらに強めよう」と述べました。その後、各界・各層から、原発再稼働反対の意見、アピールが相次いで出されました。毎週行われている金曜行動のパフォーマンス等で盛り上がった後、「原発再稼働反対、ただちに廃炉！」などを訴える集會宣言を採択しました。



集會終了後のデモ行進で、小倉駅まで「原発廃炉」「電気は足りてる」「廃炉、廃炉」などと訴えました。



戦争法は直ちに廃止せよ！

平和をあきらめない北九州ネット19行動：リバーウォーク噴水公園

平和をあきらめない北九州ネットは、3月19日14時からリバーウォーク噴水公園で「安保法制の廃止を求める北九州集會」がありました。全教北九州からは、学期末の忙しい時期にもかかわらず、12名の参加がありました。

集會には、弁護士、政党（民進党・共産党・社民党）、ママの会、など全体で450名の参加でした。集會終了後、小倉駅までデモが行われました。



2016年春闘要求行動

北九州春闘共闘連絡会と北九州地区労連（全教北九州も加盟している）は、2月25日早朝から、「2016年春闘前進をめざす地域総行動」を実施しました。とても寒い朝でしたが、市内4つの駅で宣伝を行いました。早朝宣伝の後、北九州生涯学習総合センターに設けられた要請会場に集合し、意思統一集會を行いました。参加していた全教北九州からは、雇用政策担当課長へ、臨時教員の産休・育休が取られていない状況を訴えるとともに、男女共同参画社会を政府も北九州も掲げているのであれば、この件はぜひとも改善していただきたいと要求しました。



臨時教職員の産前・産後休暇、育児休業を法律通り取得させてください！





お待ちしております。
います。



2016年度

せんせいの学校開校式

4月2日(土) 13:00~17:00

場所 ウェル戸畑8階会議室

(JR戸畑駅横)

1時間目 13:00~14:30	全体学習会 講師：渡辺雅之さん <small>(元中学校教師、現横浜国立大学、大東文化大学他講師、全国生活指導研究協議会会員)</small> テーマ：子どもとつながる —「生きづらさ」の背景を探る—		
2時間目 14:40~15:40	小学校分科会 講師：板垣賢二さん <small>(貫小学校)</small>	中学校分科会 講師：河本 敏さん <small>(板櫃中学校)</small>	特別支援教育分科会 わかりやすい教具の紹介 <small>(八幡西特支訪問部有志)</small>
3時間目 15:50~16:30	講座：給与明細の見方・元気に働き続けるための私たちの権利		
帰りの会	お楽しみ抽選会 (空くじなし)		

どなたでも参加できます (参加費無料)

お問合わせ せんせいの学校開校式実行委員会 (ポラリス北九州内)

☎ 093-280-4776、 080-4271-6815 (中川)

購読しませんか？

月刊 **クレスコ** (送料込500円)

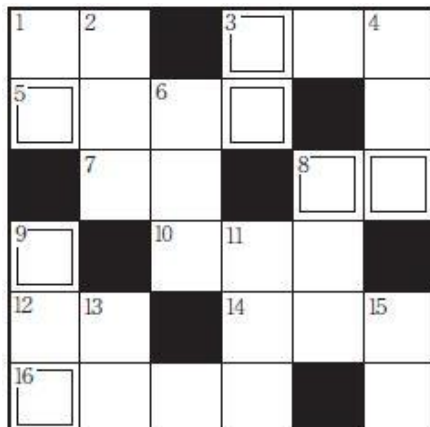
今、教育は？がわかる
雑誌です (事務所まで)



答えがわかった方は、全教北九州へEメールかお電話でご連絡ください。正解者先着10名様にポイント差し上げます。ポイントによって商品があります。なお、ポイント付与は一分会(職場)につき一名とさせていただきます。正解ポイントは一問につき1ポイントです。10ポイントたまると商品を差し上げます。2月26日号の正解は「うどし」でした。

クロスワードパズル

カギを解き、二重ワクに入る文字をうまく並べてできる言葉は何？

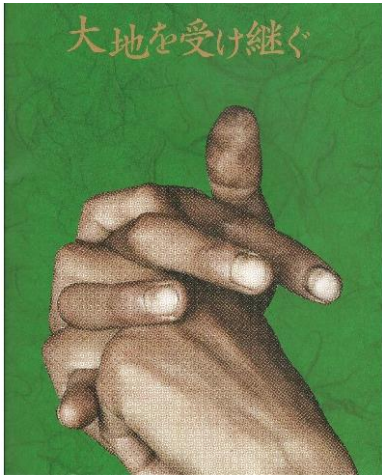


【タテのカギ】①額に〇〇して働く②漢字で綴った詩③壬申の〇〇、応仁の〇〇④東京都経営の路面電車、——荒川線⑤要件を人に頼むこと⑥後期の対⑦——流々、仕上げを眺める⑧切ること。テープ——⑨赤勝て、〇〇勝て⑩ミステーク

【ヨコのカギ】①〇〇の他人②灯り③船舶の乗組員④知らぬと〇〇を切る⑤〇〇は急げ⑥誠に——に存じます⑦〇〇の上にも三年⑧月を眺め鑑賞すること⑨素人の対、——だ

原発再稼働は絶対に許されない！映画「大地を受け継ぐ」を見て

原発事故から4年8カ月 被災地を見る・歩く・考える
福島県南相馬市・浪江町を訪ねるバスツアーに参加して④



3月4日全教共済事務担当者会が全教本部であった。その後、久しぶりに以前福島に行く際事前学習として行った映画館「ボレプレ東中野」を訪れた。事前にネットで検索すると、フクシマを題材として「大地を受け継ぐ」という映画が上映中であることがわかった。

フクシマで被災した農家の方が農産物の出荷停止の連絡を受けた後、自ら命を絶ちました。「お前に農業を進めたのは、間違っていたかも知れない。」そう息子に言い残して。そこに、2015年5月、東京のごく一般的な16歳から23歳までの学生が、訪れるというのだ。学生たちが訪れたこの農家の息子(樽川和也)は、母(美津代)とふたり、汚された土地で農作物をつくり続けている。「福島の水や野菜は今までの値段では売れないし、売れても黒字になることはない。」農業だけで生きていくことが難しい現状だ。それでも自死した父



や先祖代々受け継いできた土地を捨てるわけにはいけないと、彼らは土を耕し作物を育て続けている。

「いい土をつくらないと、美味しい野菜はできない。」という言葉が続いてきた父。

毎年食べていた椎茸、ふきのとう、たらの芽、山菜は、今の土地には無い。

検査しているとはいえ、汚染された地で育てた作物を流通させる、生産者としての罪の意識。紛争解決センターでの裁判、東電の補償金、身内からの非難。次々に押し寄せる内外の葛藤。これは決して報道されることのない真実の告発、四年間の決意と奇跡。息子は言う、「これは風評じゃない、現実なんだ。」と。

その言葉を聞く学生たちは、何を想い、何を受け継ぐのか。(つづく)

2月定例会

2月25日

新年度の役員選挙の投票日ということで選挙管理委員の方をはじめ、投票用紙を持って参加された先生方お疲れ様でした。

投票の結果、新役員の立候補者全員の信任が確認されました。

議題は、人事異動、2000万署名、組織建設3か年計画、事務権限移譲、春闘、各専門部から等でした。

4月2日にはせんせいの学校開校式！

原発のない未来へ！

東京で

福島原発事故から5年

チェルノブイリ原発から30年

3.26全国大集会

3月26日代々木公園で、「NO NUKES DAY全国集会」が行われました。主催は、さよなら原発1000万人アクション、原発をなくす全国連絡会、首都圏反原発連合、反原発運動全国連絡会で、協力として戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会が入り、全教も各県に呼び掛け全教北九州からも参加しました。

会場には、ステージが3か所、3万5千人が集まりました。東京は、朝方小雪が舞うあいにくの天気でしたが、集会のスタートに合わせて次第に晴れ間が見え、プログラムが進むにつれ、会場の熱気ともどもボルテージが上がりました。

全教北九州の旗を見た方から、「北九州からですか、頑張りましょう！」と激励を受け、存在感のアピールをすることもできました。



広島で

青年部広島平和学習 3月26日・27日

これまで、広島と聞くと「原爆」とか「被爆」というイメージが強かったように思います。今回は「軍都 広島」の側面を学ばせていただきました。どうして広島に原爆が落とされたのか、という疑問がすっかり解決したように思います。日清戦争から日露戦争、日中戦争、太平洋戦争と日本は狂ったように戦争への道へと進んでいきました。そして、たくさんの方が犠牲になりました。今の日本は、戦争法が成立してしまい、兵站の役割を担わせられようとしています。「後方支援」という言葉にだまされているのではないかと感じずにはいられません。何が戦争へと進ませたのか？を考えることが、戦争の道へと進むのを止める鍵になることを強く感じました。そして、考えるためには、学ぶことが必要だということも感じました。

1日目の学びをもとに、2日目には、これまで以上に深く考えることができました。

70年前のあの日も「明日を夢見て日常を過ごしていたたくさんの人がいて、そしてその日常が一瞬にして奪われてしまったこと、そしてその日常を必死に守ろうとしていた先生がいたこと・・・涙が出そうでした。

自分が知らなかったことを知ると、「これを伝えなきゃいけない」といつも決意を新たにしますが、今回は「伝える」と同時に、社会科の教員として「戦争は絶対にダメだ！」とはっきり言える未来の有権者を育てたいと思いました。

教員採用試験対策講座「鷹の爪」

今回は、4月27日(水) 「合格する願書の書き方」

次々回は、5月10日(火) 「書き上げた願書を持ち寄ろう」

と続きます。予定に入れておいてください。